



六本杉

令和6年9月20日

学校評価（第1回）結果報告号

八王子市立いずみの森義務教育学校
学校便り

学校評価（第1回）の結果報告

統括校長 中嶋 富美代

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、1学期に行いました学校評価に対する結果をお知らせいたします。肯定的なご意見をいただいたことは今後も継続し、ご指摘いただいた部分については真摯に受け止め、今後の本校の教育活動の改善に生かしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1 アンケートについて

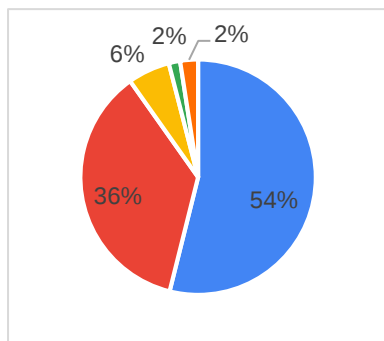
【実施期間】6月21日（金）～7月1日（月）

【回答数・率】449件・47%

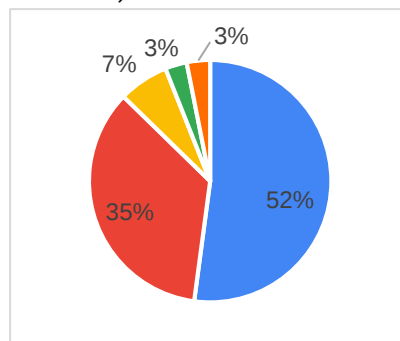
2 アンケートの結果・見解

■あてはまる ■ややあてはまる ■ややあてはまらない ■あてはまらない ■わからない(判断できない)

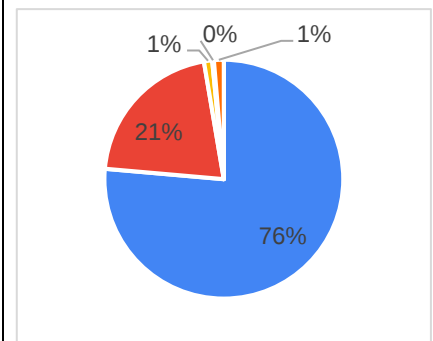
1 学校の教育方針（「創造、共生、健康」）を知っている。



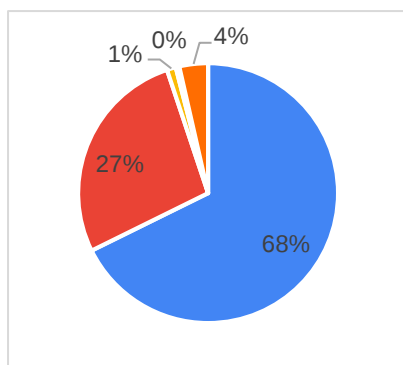
2 学校が力を入れて行っている取り組み（教科担任制、英語科・数学科の少人数授業）について知っている。



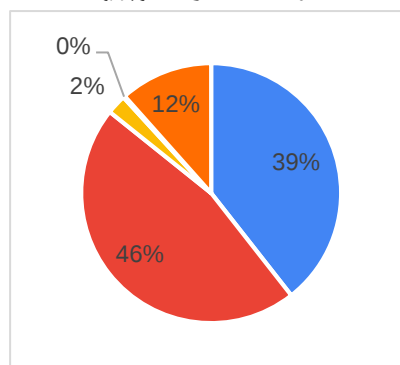
3 異学年で行う本校の特色ある取り組み（運動会、フェスティバル、わくわく清掃など）について知っている。



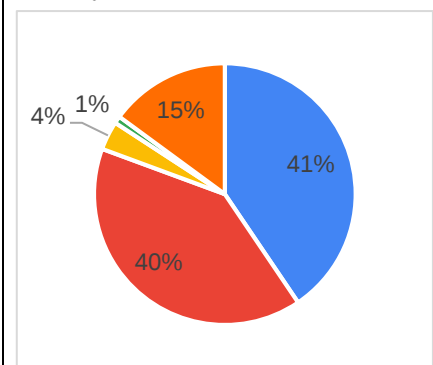
4 学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。



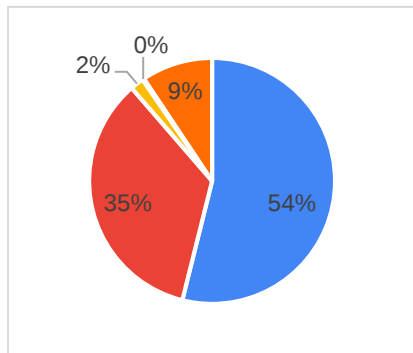
5 学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、自分の大切さ、他者の大切さを認め、行動できるような教育を進めている。



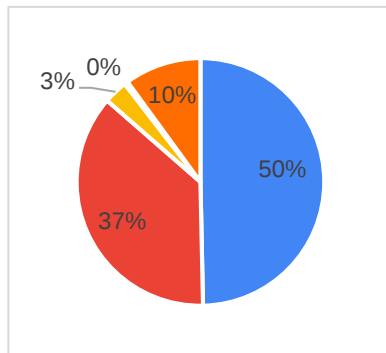
6 学校は、いじめの未然防止、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。



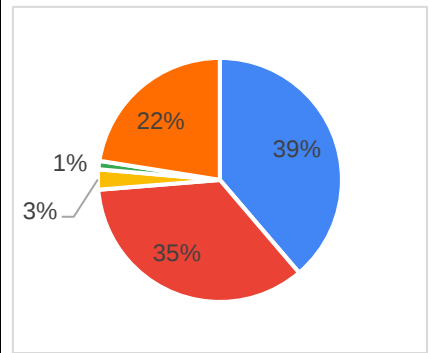
7 子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。



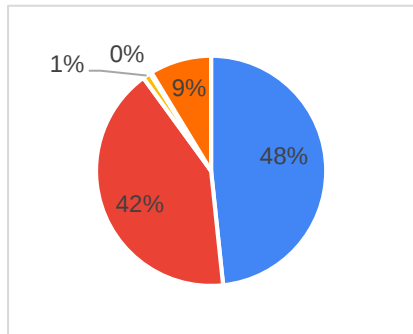
8 学校は授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT 機器(1 人1 台の学習用端末などを含む)の活用などの工夫に取り組んでいる。



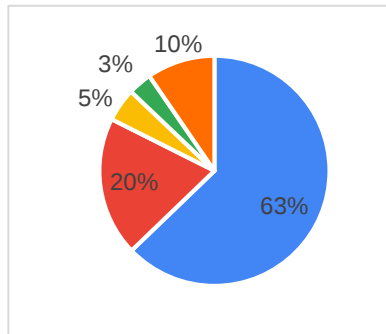
9 学校の子どもの学習活動に対する評価は適切・公平である。



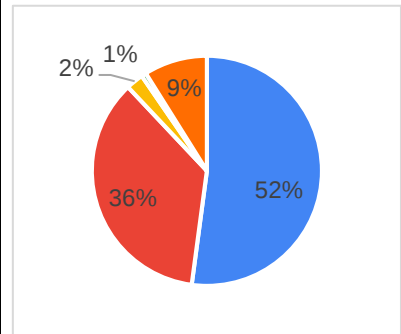
10 学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、決まりを守ったりする指導を行っている。



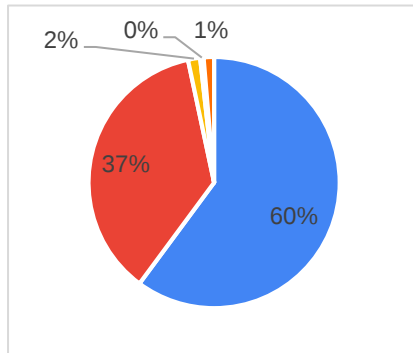
11 学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。



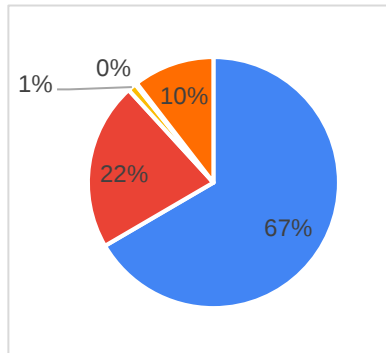
12 学校は校内の美化や安全管理など、学習環境の整備に取り組んでいる。



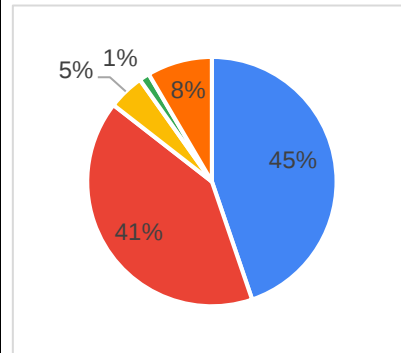
13 学校は、保護者・地域に対して学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。



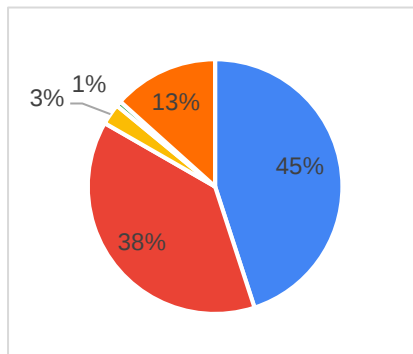
14 学校は特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。



15 学校は、落ち着いて学習できる雰囲気である。



16 学校は、地域運営学校として、地域との連携を図りながら、地域とともにある学校を推進している。



学校の取組について、日々、更新している学校ホームページをご覧ください。



いずみの森協働本部がヒマワリ大作戦で
子供・保護者・地域の方と植えたヒマワリ

【各設問の回答割合に関する分析】

①昨年度より肯定的な評価が増えた設問（3%以上）

No.	設問	増加量(回答割合)
1	学校の教育方針（「創造、共生、健康」）を知っている。	+3.3% (89.9%)
2	学校が力を入れて行っている取り組み(教科担任制、英語科・数学科の少人数授業)について知っている。	+4.8% (87.3%)
6	学校は、いじめの未然防止、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	+4.9% (80.6%)
12	学校は校内の美化や安全管理など、学習環境の整備に取り組んでいる。	+3.2% (88.0%)
14	学校は特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。	+4.2% (88.2%)
15	学校は、落ち着いて学習できる雰囲気である。	+4.1% (85.6%)

②昨年度より肯定的な評価が減った設問（3%以上）

No.	設問	増加量(回答割合)
8	学校は授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT 機器（1人1台の学習用端末などを含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	-3.5% (89.9%)
9	学校の子どもの学習活動に対する評価は適切・公平である。	-7.4% (73.8%)
11	学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	-5.8% (82.4%)

③肯定的な回答が 80%を超えていない設問

No.	設問	回答割合
9	学校の子どもの学習活動に対する評価は適切・公平である。	73.8%

④「5 わからない（判断できない）」の割合が高い設問（11%以上）

No.	設問	回答割合
5	「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、自分の大切さ、他者の大切さを認め、行動できるような教育を進めている。	11.6%
6	学校は、いじめの未然防止、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	14.9%
9	学校の子どもの学習活動に対する評価は適切・公平である。	22.5%
16	学校は、地域運営学校として、地域との連携を図りながら、地域とともにある学校を推進している。	13.4%

【学校の見解】

- 各設問の回答傾向は、昨年度と比べて大きな変化はないが、6項目で肯定的意見が増加し、別の7項目で肯定的意見が85%以上を引き続き上回っており、教育活動についてご理解いただけていることがわかります。
- いじめ対策については、昨年度と比較すると肯定的な意見が4.9%増加するとともに、「わからない（判断できない）」という回答が3%減少しています。令和4年度と比較すると19%肯定的な意見が増加しました。学校では、毎週水曜日にいじめ対策委員会を実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に取り組んでいます。一方で肯定的な意見は80.6%と他の項目と比較して低いです。すべての児童・生徒が安心して登校できるようにこれまで以上に保護者・地域、関係機関との連携を徹底していきます。
- 昨年度より肯定的な評価が減った3つの設問のうち、評価に関する項目は、昨年度と比較して7.4%の減少、肯定的意見が73.3%と他と比べると低くなっています。評価に関して、保護者会や面談、書面配布にて、説明しているところですが、学校全体で適切で公平な評価に向けて、改善を進めていきます。
- 授業の工夫-3.5%やキャリア教育-5.8%といずれも肯定的な意見が減少しています。授業の工夫やキャリア教育は、学校全体として大切にしている取組です。授業の工夫を発信したり、キャリア・パスポートをより一層活用したりと引き続き努めていきます。
- 地域とともにある学校づくりについて、「わからない（判断できない）」の回答が昨年度とほぼ同値でした。1月の防災学習、8月の第2回サマーフェスタ、コミュニティ・カレンダーの発行、学習サポーター等、たくさんの取組があります。保護者の方々が参加できたり、一緒に活動したりしていただくことで理解が深まっていくよう広報に力を入れていきます。
- アンケートの回収率が47%と前回に比べ17.5%減少しました。今年度から新たに6月にアンケートを実施したことが要因として考えられます。学校評価は、よりよい教育活動に向けてとても大切です。次回11月のアンケートでは回収率を70%以上になるよう工夫していきます。

3 アンケートの結果・見解

①安全に関して

- ・下校時の交通安全に指導してほしい。
- 毎月の安全指導や近隣の方からの情報が入った際等に学年の発達の段階に応じて指導しています。
- ・子供に対してけがについて注意喚起したり、怪我が多発する場所に安全対策をしたりしてほしい。
- けがについて、担任等が指導したり保健だよりで注意喚起したりしています。また、怪我が多発する場所について、職員が安全点検をしたり、用務主事等が確認して対策したりしています。
- ・いじめ防止に向けた成果が感じられない。
- 令和6年度全国学力・学習状況調査において「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか」という問いに対する肯定的な回答の割合は、6年生が87.8%(東京都67.8%)、9年生が87.7%(東京都67.1%)と顕著に高く、いじめ防止対応の一つの成果と捉え、今後に生かしていきます。

②施設に関して

- ・体育館のエアコンの通常時に使用可能にしてほしい。
- 安全・安心を第一に、熱中症指数計を確認しながらエアコンを活用して活動できるようにしています。
- ・時計の時刻が教室ごとに違い、子供が困っている。時間のルーズさが気になる。
- 学校全体の動きにかかわることですので、時計を合わせるとともに、全体で時間を意識していきます。

③機器

- ・IT機器の使用時間はリスクも配慮してほしい。
- 情報教育やルールについて、授業や生徒会の提案等、学んだり確認したりする機会を設けています。資料が配信・配布された際には、ご家庭でも必ずご確認くださいようお願いします。

④学用品について

- ・書写道具を忘れた子に貸さなければならないシステムを改善してほしい。
- 忘れ物をしないように指導を徹底すること、書写用具は学校の道具で対応できるように確認します。
- ・ランドセルの重さが気になる。
- I期(1～4年生)で教科書・ノート等、学校に置かせて重さを調節するように学校全体で確認します。

⑤教育活動・行事

- ・土曜授業で5時間目まで行う理由がわからない。→年間で定められた授業時数に基づいています。
- ・行事予定のお知らせが遅い。→決定後に、速やかにお知らせするように努めます。

「いずみの森大運動会」のアンケートの主な結果・見解

【実施期間】6月1日(土)～6月12日(水)

【回答数・率】419件・44%

(1) 肯定的な意見

- ①小さな前期の子から大きな後期の子まで、色ごとに気持ちを一つにしている姿が印象的でした。
- ②ダンスや徒競走に楽しそうに取り組んでいてとても良かったです。
- ③熱中症が心配でしたが、待機席にテントがはってあったので安心しました。

(2) 改善点に向けてのご意見

- ①前期・後期で分け運動会を実施してほしい。
→義務教育学校の特色を生かした「学び合い」「高め合い」を実現するために前期・後期が一堂に会する大運動会を大切にしていく方針です。
- ②土曜日の実施は「弁当なし」か、「弁当有であれば1日で実施」を検討してほしい。
→児童・生徒が力いっぱい活動したり、高め合ったりするためには、金曜日・土曜日2日開催で土曜日はお弁当がよいと判断しました。来年度について、よりよい実施方法について検討していきます。
- ③入れ替え制について、一部の方が陣取っているのが残念に感じた。腕章で色分けしてはどうか。
→PTA本部の方々、ボランティアの方々のご協力のもと、入れ替え制の運営ができています。腕章の色分けなどの案を生かして、よりよく、実現可能な方法をPTA本部の方々と検討していきます。
- ④2種目のみということに物足りなさを感じた。
→応援合戦や全校競技、応援する姿を認めていただき親子共に有意義な運動会にしていきたいです。